

*** 令和3年度の成果 ***

今年度は第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画のスタートの年でした。新型コロナの感染状況とにらめっこしながらの令和3年度。自立支援協議会総会も、第1回と第2回は書面開催となりました。このような状況下でも、Webを活用して部会や研修会を開催したり、感染症対策を講じたうえで集まったり…と工夫しながら活動を継続し、障がい(児)福祉計画と連動した協議検討を行って参りました。振り返ってみると、部会や委員会等の活動回数は166回！皆さまの熱意とご協力に感謝するばかりです。そのような活動の中から、今年度の成果を紹介します！

◇ 圏域独自の就労アセスメント運用開始 ◇

単に制度利用のために就労アセスメントを位置付けるのではなく、就労系障害福祉サービス事業所から始まる一連の就労支援のプロセスにおいて、職業的なニーズや変化を支援するために用いられるよう、圏域として事業化していただきました。今年度新卒者を対象として9名の方が就労アセスメントを受けられています。

◇ 一人暮らし体験事業「おためしハウス 205」の開始 ◇

令和3年4月より6市町村が共同で予算化を図り、一人暮らし体験事業を開始しました。飯山市内のアパートの1室を確保し、一人暮らしの体験が行えるようになりました。希望者には体験に向けて相談を行い、実施計画を立て、振り返りを行うことにより、自立への支援を行っています。今年度は約10名の方に体験していただく事ができました。

「おためしハウス 205」

家具・家電付きの1K です



体験の様子



☆ 体験された皆さんの声 ☆

自分で出来る事や、出来ないことが見えてきた。

少し自信が持てた。

普段家でやっていることは、一人になってもできることがわかった。普段から家族に頼りすぎず、いろいろやっておきたい。

家事をやる事での疲れや、1人での時の気持ちの波・変化が感じられた。

自立支援協議会 各部会の活動、研修会のお知らせ等は、随時ホームページで紹介しております。ホームページもぜひご覧ください！

「北信 自立」または <http://www.iiritusien.jp/> で検索を！

北信 自立

検索

QRコードからも！



北信地域障がい福祉自立支援協議会だより 令和3年度号

【編集・発行】北信地域障がい福祉自立支援協議会
【事務局】北信圏域障害者総合相談支援センター
【住所】中野市大字笠原 765-1
【TEL/FAX】0269-23-3525/0269-23-3521
【E-mail】hokushin3525@nkn.janis.or.jp



(2022年3月31日発行)

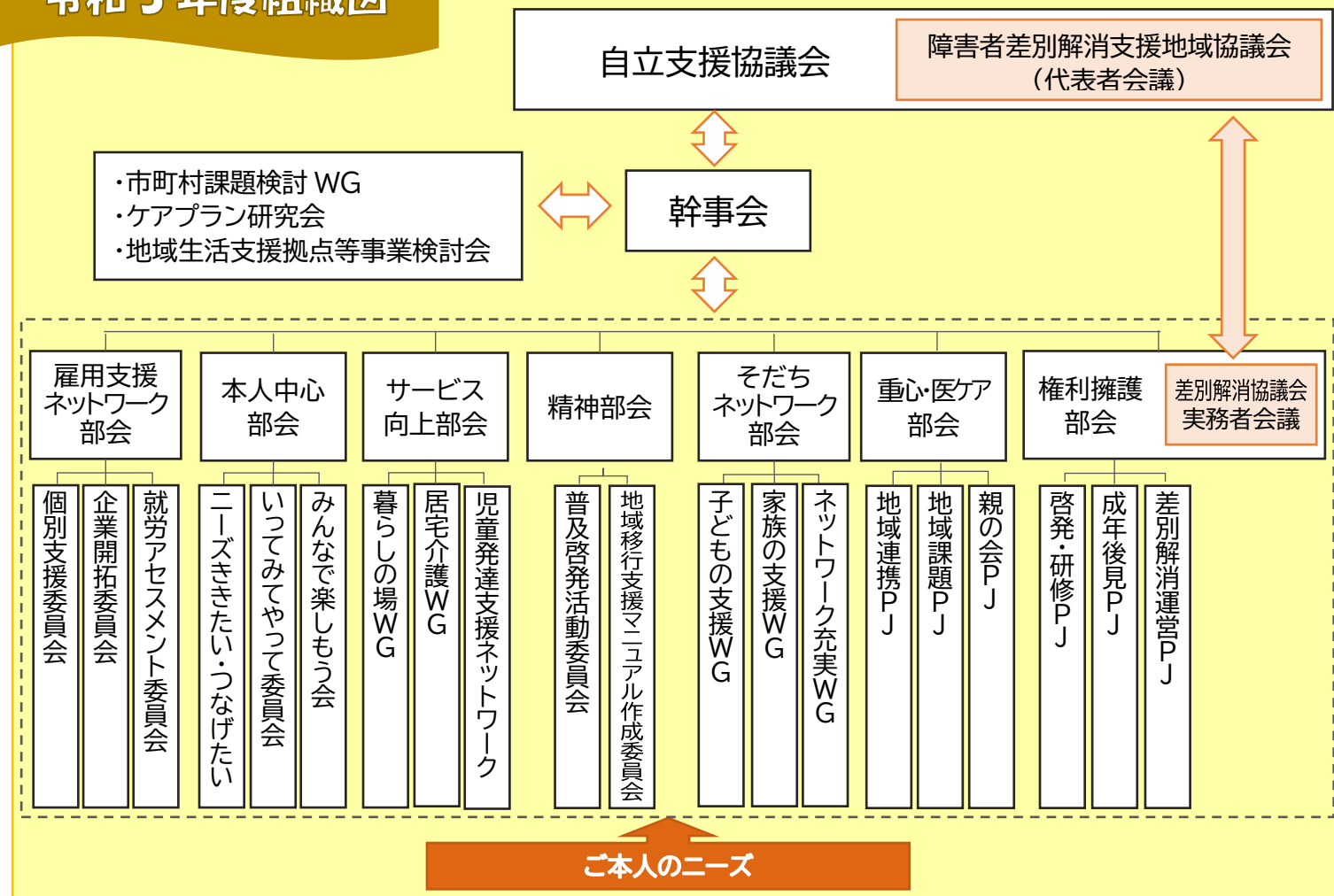
自立支援協議会とは??

関係機関(福祉・医療・保健・教育・労働等)が相互に連携を図り、情報や課題を共有し、地域の実情に応じた障がい者等への支援体制の充実のために協議を行う組織です。

北信圏域では H18年度に、北信圏域6市町村により設置されました。現在は7つの専門部会を設置し、北信圏域に暮らす障がいのある方々が地域で豊かに暮らし続けられるよう、日々地域の課題の検討や、様々な活動を行っています。



令和3年度組織図



◇専門部会をちょっとご紹介◇

思い通りにはいかない状況下ですが、活動を止めずに進めてきた各部会の取り組みや成果を紹介します！

雇用支援ネットワーク部会

☆就労支援の在り方や進め方、制度理解について基本的な理解と共有をはかるため、部会内で研修会を実施した。

☆就労移行支援事業所が地域にない中で、「みなし就労アセスメント」の体制を整え、スキルアップの取り組みを行いながら実施した。

☆圏域内の就労継続支援 B 型事業所から 3 名の就職者があった。

精神部会

☆入院する際に必要な情報が共有できるよう、現在ある利用者情報提供書について、病院関係者、地域支援者の声を聴きながら作成した。



☆地域に向けた啓発を行うため、統合失調症をテーマに広報紙を作成した。
来年度啓発に活用する。

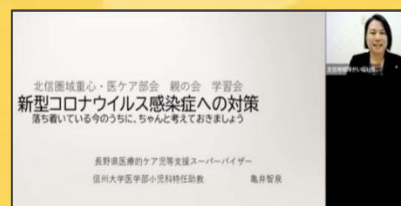
本人中心部会

☆生活に必要な情報(コロナや災害等に関して)をどのようになっているか、当事者にアンケート調査を実施した。
☆わかりやすい情報提供の方法について検討し、関係機関に協力の依頼を行った。

☆当事者向けに、ウェブを活用しながら暮らしの場所・働く場所の見学会を実施した。



重心・医ケア部会



☆親の会学習会『新型コロナウイルスからお子さんを守るために』をYouTube配信で実施した。
100 名を超える方にご視聴いただいた。

☆災害時に備え、医ケアの方の個別避難計画について検討し、避難時に必要な事項を記入するシートを作成した。
来年度は実用化をめざす。

そだちネットワーク部会

☆「子どもに関連した補助の制度が、必要としている家庭に届くための工夫」を取り上げ検討。今後、まずは制度の内容や対象者を容易に把握できるようなツールを作成し、必要なタイミングでその時の軸となる支援者が家庭へと情報提供ができる体制を整えていく。

☆保育所等訪問支援・園訪問・児童館・児童クラブ・教育相談について各市町村の現状と課題についてアンケートを実施した。

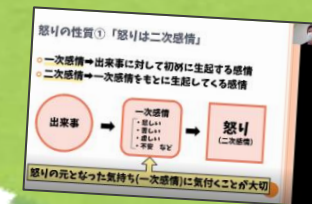
サービス向上部会

☆「つながる」を年間のテーマとし、事業所の枠を超えて、状況共有や意見交換を行った。

☆現場支援者に向けた研修会を実施。ウェブを活用することで大勢の方にご参加いただいた。

第 1 回「“怒り”の理解と対応～利用者の怒りへの対応と支援者自身のアンガーマネジメント～」

第 2 回「発達障がいとは～障がい理解キホンのキ～」



権利擁護部会

☆部会員自身の学び・理解を深めるため、「権利擁護」に関する部会内研修会を実施。日々の支援の中で感じる「権利擁護」に関する疑問や戸惑い等について意見交換を行った。

☆研修会「親亡き後のお金と制度知識として知っておくべきこと～日常生活自立支援事業と成年後見制度のちがいを～」を実施した。

☆障害者差別解消法や相談窓口を地域の方にも知って頂けるよう、広報紙を作成した。

